

PART—2 卒業生・修了生アンケート調査集計結果

目 的：卒業（修了）生に対して、在学中に身に付けた能力および資質並びに当該能力等の実社会での有用度、社会人として必要なこと等について、就職先等における社会経験に基づく意見を聴取し、本学の教育効果の検証に資することを目的とする。

質問内容：在学中の教育内容、キャリア支援、学生生活支援等

対 象 者：平成 20 年度から平成 24 年度卒業生・修了生（卒後 3 年から卒後 7 年の 5 年間）

調査時期：平成 28 年 8 月 8 日～8 月 31 日

調査方法：アンケート調査は、同窓会と連携し対象者に別紙案内書を郵送し、同窓会のホームページで告知し、Web サイトで回答をお願いした。

回 答 率：アンケートの回答率は、大学 8.4％・大学院 14.9％であり、回答率は、データの信頼性に係わるため、今後の調査において回答率を改善するための対策が必要である。

○大学学部（学科）

学部（学科）		送付数	回答者数	回答率（％）
薬学部	薬学科	2 8 5	2 3	8 . 1
歯学部	歯学科	2 7 3	1 7	6 . 2
看護福祉学部	看護学科	3 3 4	2 3	6 . 9
	臨床福祉学科	3 5	9	2 5 . 7
心理科学部	臨床心理学科	9 4	7	7 . 4
	言語聴覚療法学科	1 7 2	1 8	1 0 . 5
大学合計		1, 1 5 7	9 7	8 . 4

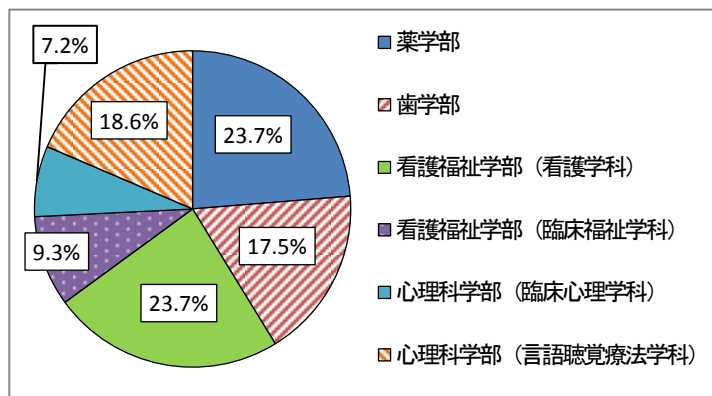
○大学院研究科

研究科		送付数	回答者数	回答率（％）
薬学研究科		1 5	5	3 3 . 3
看護福祉学研究科		4 8	3	6 . 3
心理科学研究科		1 1	3	2 7 . 3
大学院合計		7 4	1 1	1 4 . 9

1. 大学の調査概要

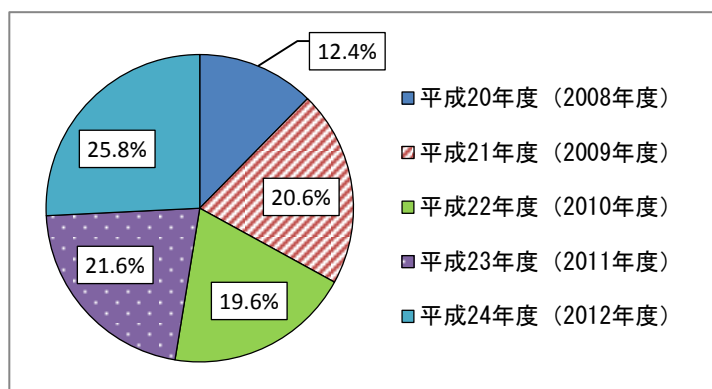
■ I. 基本事項 (Q 1 から Q 8)

Q 1. 卒業した学部



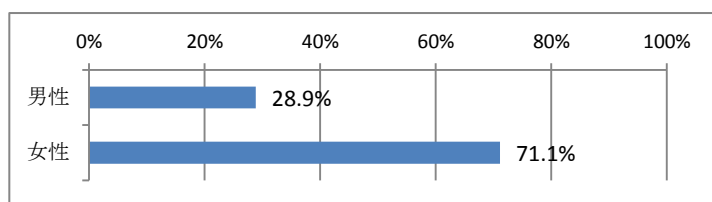
薬学部	23
歯学部	17
看護福祉学部(看護学科)	23
看護福祉学部(臨床福祉学科)	9
心理科学部(臨床心理学科)	7
心理科学部(言語聴覚療法学科)	18
計	97

Q 2. 卒業年度



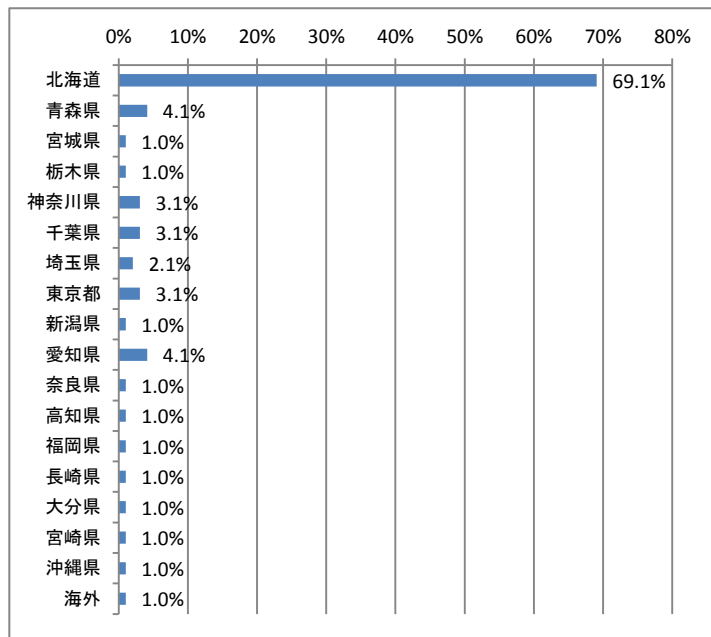
平成 20 年度(2008 年度)	12
平成 21 年度(2009 年度)	20
平成 22 年度(2010 年度)	19
平成 23 年度(2011 年度)	21
平成 24 年度(2012 年度)	25
計	97

Q 3. 性別



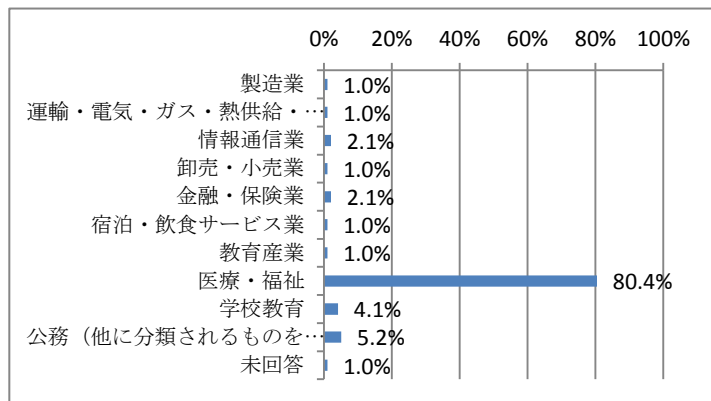
男性	28
女性	69
計	97

Q 4. 居住地



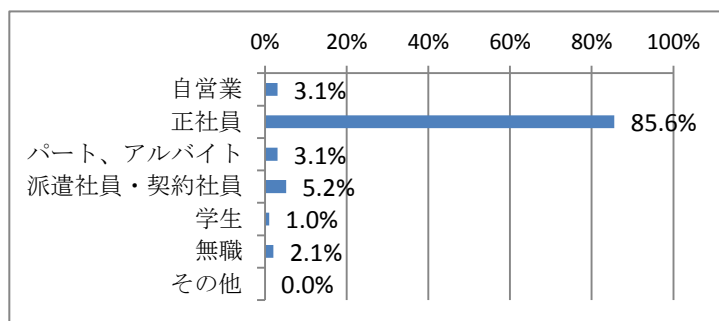
北海道	67
青森県	4
宮城県	1
栃木県	1
神奈川県	3
千葉県	3
埼玉県	2
東京都	3
新潟県	1
愛知県	4
奈良県	1
高知県	1
福岡県	1
長崎県	1
大分県	1
宮崎県	1
沖縄県	1
海外	1
計	97

Q 5. 現在の職業



製造業	1
運輸・電気・ガス・熱供給・水道業	1
情報通信業	2
卸売・小売業	1
金融・保険業	2
宿泊・飲食サービス業	1
教育産業	1
医療・福祉	78
学校教育	4
公務（他に分類されるものを除く）	5
未回答	1
計	97

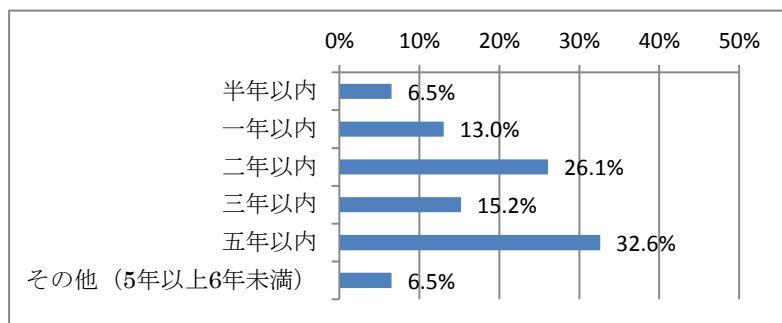
Q 6. 現在



自営業	3
正社員	83
パート、アルバイト	3
派遣社員・契約社員	5
学生	1
無職	2
その他	0
計	97

Q 7. 転職在職期間

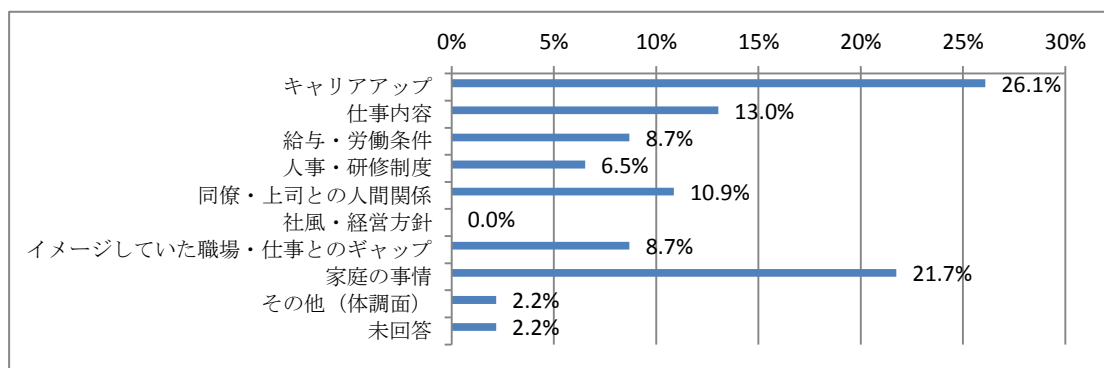
回答者 97 名のうち転職者は 46 名（47.4%）であった。



半年以内	3
一年以内	6
二年以内	12
三年以内	7
五年以内	15
その他(5年以上6年未満)	3

Q 8. 転職理由

○転職の主な理由として、キャリアアップ 26.1%と家庭の事情 21.7%であった。



キャリアアップ	12
仕事内容	6
給与・労働条件	4
人事・研修制度	3
同僚・上司との人間関係	5
社風・経営方針	0
イメージしていた職場・仕事とのギャップ	4
家庭の事情	10
その他(体調面)	1
未回答	1
計	46

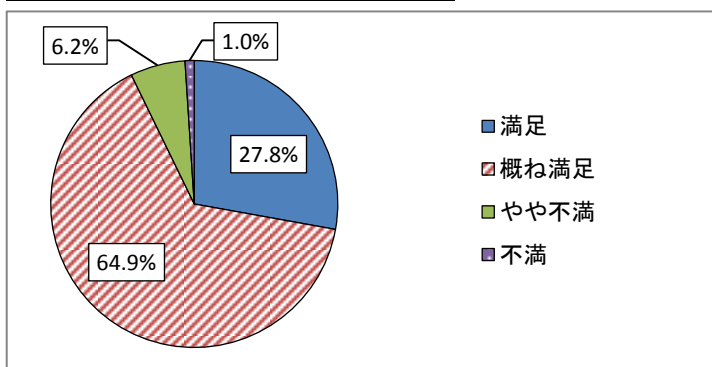
■ II. 学生生活に対する満足度（Q9～Q13）

教育内容の満足度は、90%以上と高い

○教育内容全般の満足度 92.8%、学習や研究に関する施設設備等の満足度 86.6%、教員への質問や相談体制の満足度 83.5%と教育に関する満足度が高かった。

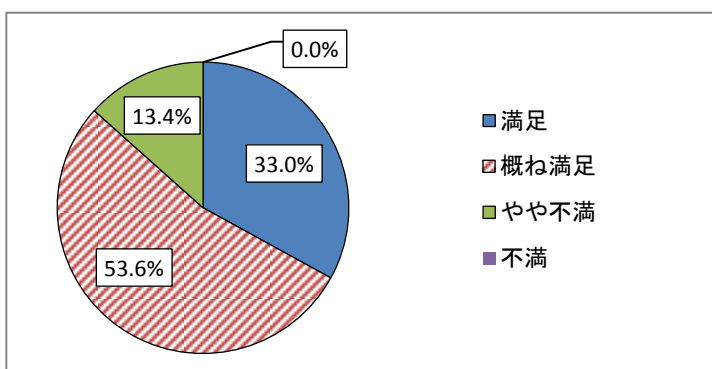
○満足度が低くはないが、学生生活全般に関する施設設備等の満足度 76.3%、就職活動への支援体制の満足度 71.1%であった。

Q 9：教育内容全般に関する満足度



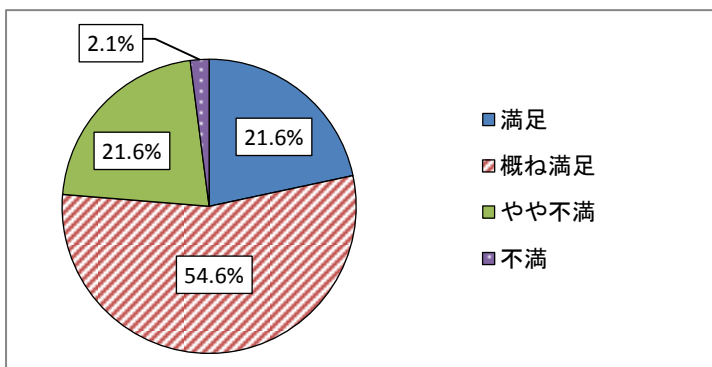
満足	27
概ね満足	63
やや不満	6
不満	1
計	97

Q10：学習や研究に関する施設、設備、備品に関する満足度



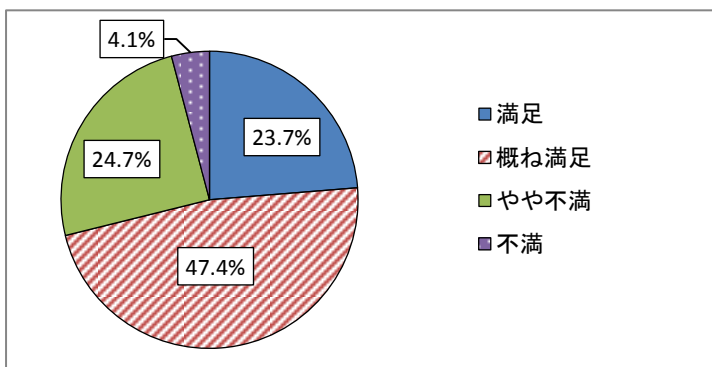
満足	32
概ね満足	52
やや不満	13
不満	0
計	97

Q11：学生生活全般に関する施設、設備、備品の満足度



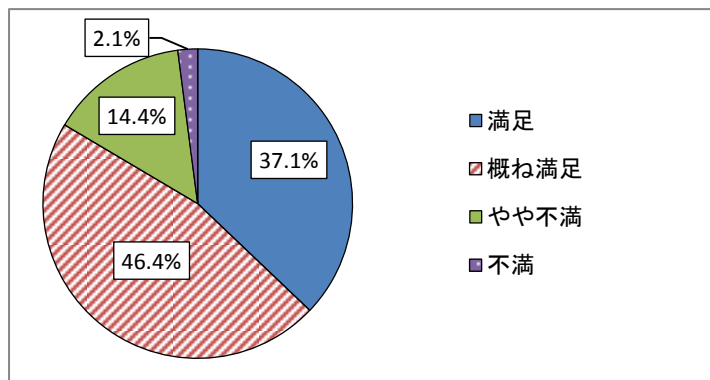
満足	21
概ね満足	53
やや不満	21
不満	2
計	97

Q12：就職活動への支援体制の満足度



満足	23
概ね満足	46
やや不満	24
不満	4
計	97

Q13：教員への質問や相談体制の満足度



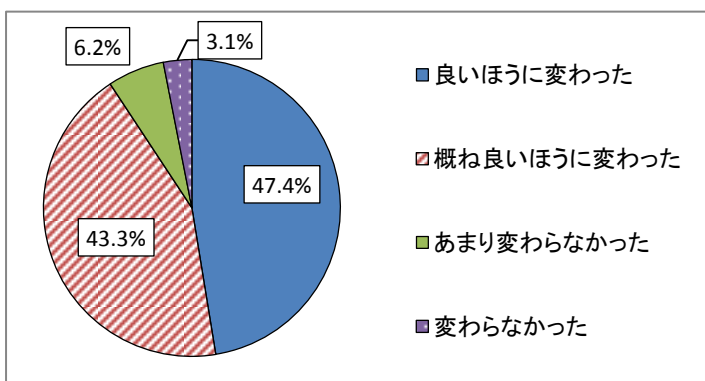
満足	36
概ね満足	45
やや不満	14
不満	2
計	97

■Ⅲ. 学生生活で感じたこと、身に付いたこと（Q14～Q18）

概ね教育成果が表れている

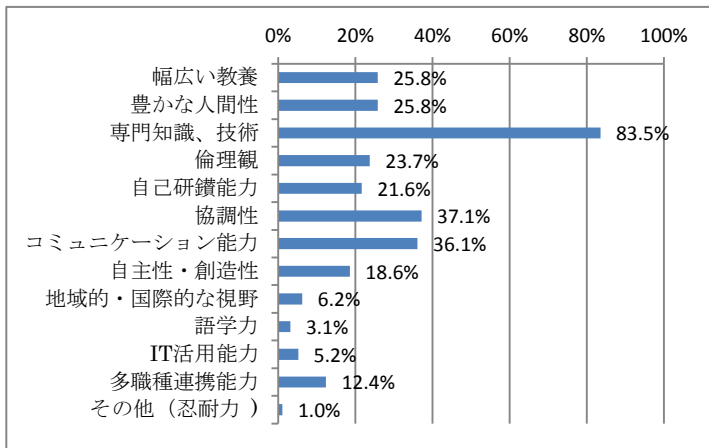
- 学生生活によって、自分が良い方向に変わったかの質問に対し、「良いほうに変わった」と「概ね良いほうに変わった」と回答した合計が 90.7%と高い比率であった。
- 在学中を通して身についた「専門知識、技術」83.5%「協調性」37.1%、「コミュニケーション能力」36.1%が上位であり、「地域的・国際的な視野」6.2%、「IT 活用能力」5.2%、「語学力」3.1%と低かった。概ね PART-1 の卒業予定者と一致した回答である。
- 国家資格と関連するが、特に仕事で学んだことや経験が役立っているかの質問に対し、「役立っている」と「概ね役立っている」と回答した合計が 90.7%と高く、教育の成果が表れている。
- 在学中にもっとしておけば良かったことや身に付けておけば良かったことを1つ選択してもらった結果、「専門知識、技術」「語学力」「プレゼンテーション能力」と実務で求められる職務能力が上位であった。
- PART-3 の就職先企業アンケートの調査結果では、身に付けていると回答した企業比率は「専門知識、技術」70.6%、「プレゼンテーション能力」32.4%、「語学力」2.9%と語学力の評価が低かった。

Q14：学生生活によって、自分が良い方向に変わったか



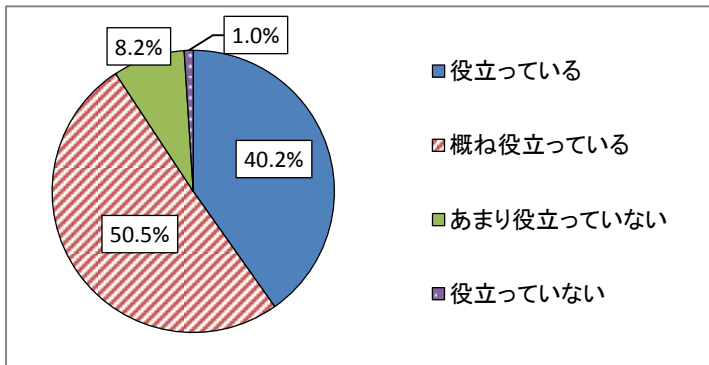
良いほうに変わった	46
概ね良いほうに変わった	42
あまり変わらなかった	6
変わらなかった	3
計	97

Q15：在学中を通して、身に付いたと思うもの（複数可）



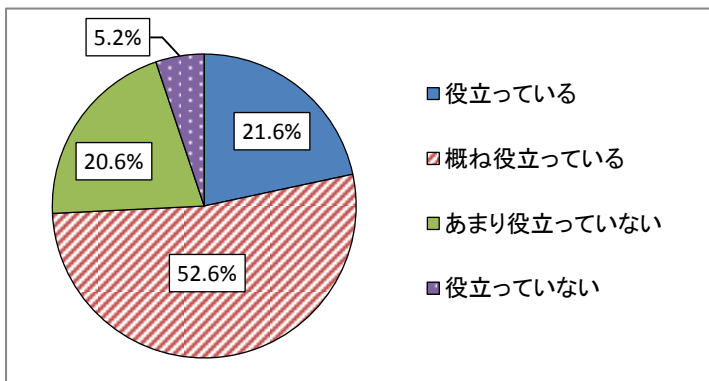
幅広い教養	25
豊かな人間性	25
専門知識、技術	81
倫理観	23
自己研鑽能力	21
協調性	36
コミュニケーション能力	35
自主性・創造性	18
地域的・国際的な視野	6
語学力	3
IT 活用能力	5
多職種連携能力	12
その他(忍耐力)	1

Q16：特に仕事で、学んだことや経験が役に立っていると感じるか



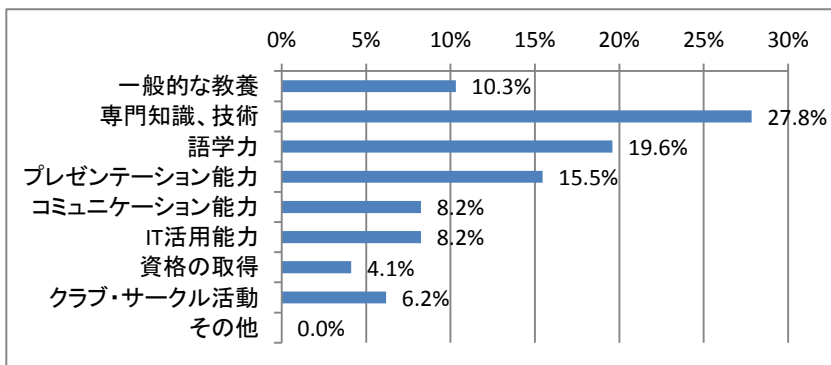
役立っている	39
概ね役立っている	49
あまり役立っていない	8
役立っていない	1
計	97

Q17：仕事以外の日常生活で、学んだことや、経験が役に立っていると感じるか



役立っている	21
概ね役立っている	51
あまり役立っていない	20
役立っていない	5
計	97

Q18：在学中にもっとしておけば良かったと思うこと、身につけておきたかった能力



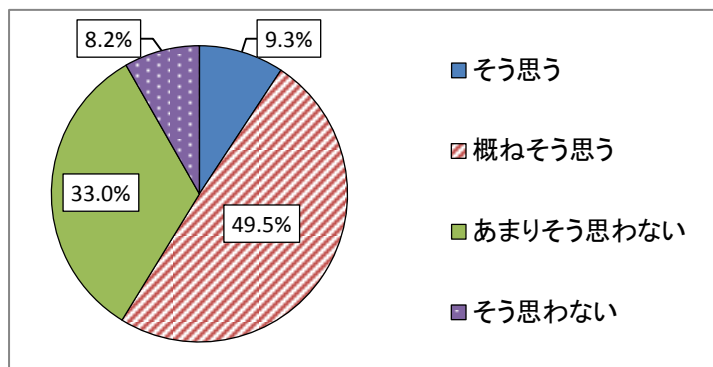
一般的な教養	10
専門知識、技術	27
語学力	19
プレゼンテーション能力	15
コミュニケーション能力	8
IT活用能力	8
資格の取得	4
クラブ・サークル活動	6
その他	0
計	97

■IV. 本学に対する卒業生の感じていること（Q19～Q22）

本学を卒業したことへの満足度は、90%以上と高い

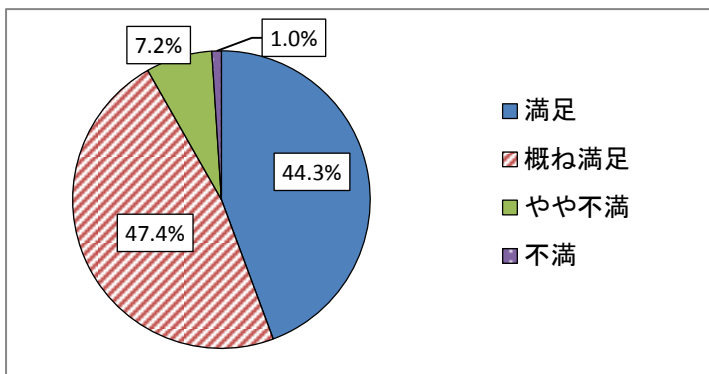
- 実社会においての本学の評価は高いと思うかの質問に対し、「そう思う」と「概ねそう思う」58.8%、「あまりそう思わない」と「そう思わない」41.2%であった。
- 本学を卒業したことへの満足度は91.8%と非常に高い数値であった。一方周りの家族、知人への本学への推奨度は75.3%であり、本学の社会的評価より増加しているが、満足度よりも減少している。
- 在学中の教育や学生支援サービスで充実改善して欲しかった支援として、「施設の充実」37.1%、「専門科目の勉強」、「実習の充実」や「各業界・職種の説明」「インターンシップ」が上位であった。このことは、学生生活全般に関する施設設備等の満足度76.3%、就職活動への支援体制の満足度71.1%の結果と関連性が考えられる。

Q19. 実社会において本学の評価は高いと思うか



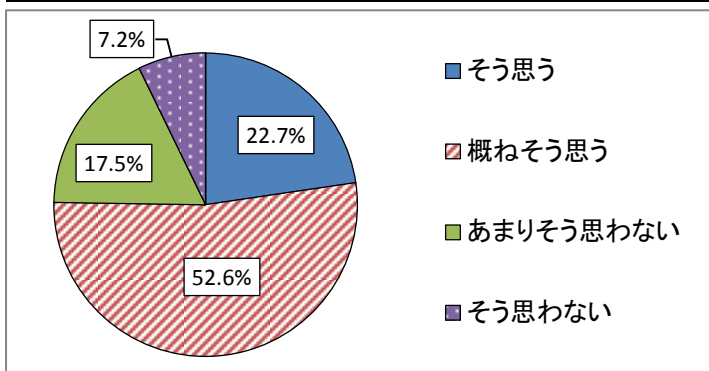
そう思う	9
概ねそう思う	48
あまりそう思わない	32
そう思わない	8
計	97

Q20. 本学を卒業したことに満足しているか



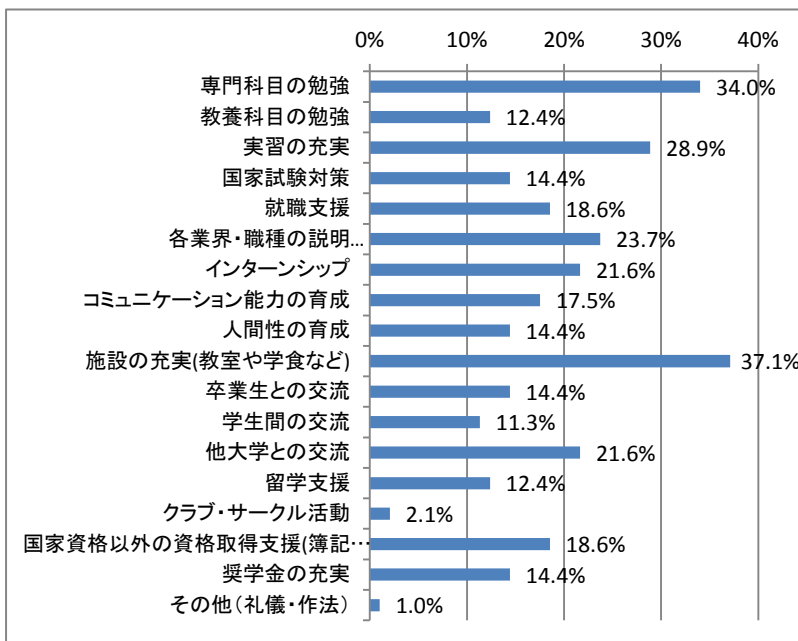
満足	43
概ね満足	46
やや不満	7
不満	1
計	97

Q21. 本学への進学を周りの家族・知人などに勧めたいと思うか



そう思う	22
概ねそう思う	51
あまりそう思わない	17
そう思わない	7
計	97

Q22. 在学中の教育や学生支援サービスで充実・改善して欲しかった支援について（複数可）



専門科目の勉強	33
教養科目の勉強	12
実習の充実	28
国家試験対策	14
就職支援	18
各業界・職種の説明 (キャリアビジョンや仕事内容など)	23
インターンシップ	21
コミュニケーション能力の育成	17
人間性の育成	14
施設の充実(教室や学食など)	36
卒業生との交流	14
学生間の交流	11
他大学との交流	21
留学支援	12
クラブ・サークル活動	2
国家資格以外の資格取得支援 (簿記や TOEIC など)	18
奨学金の充実	14
その他(礼儀・作法)	1

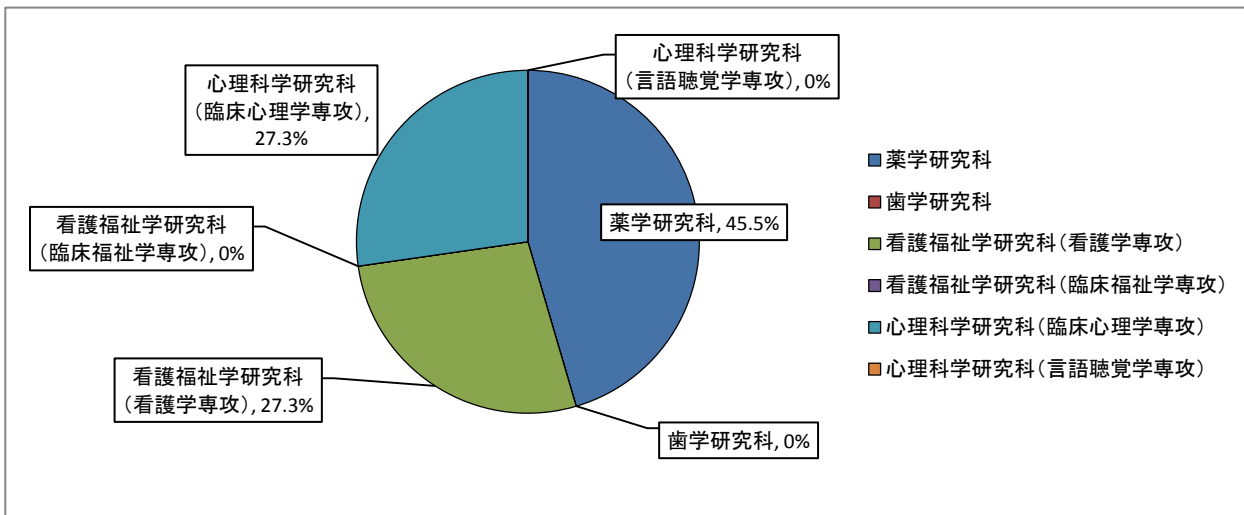
Q23. 本学をより良くするための要望や意見（自由記載）※件数

合計	14
----	----

2. 大学院の調査概要

■ I. 基本事項 (Q1~Q6)

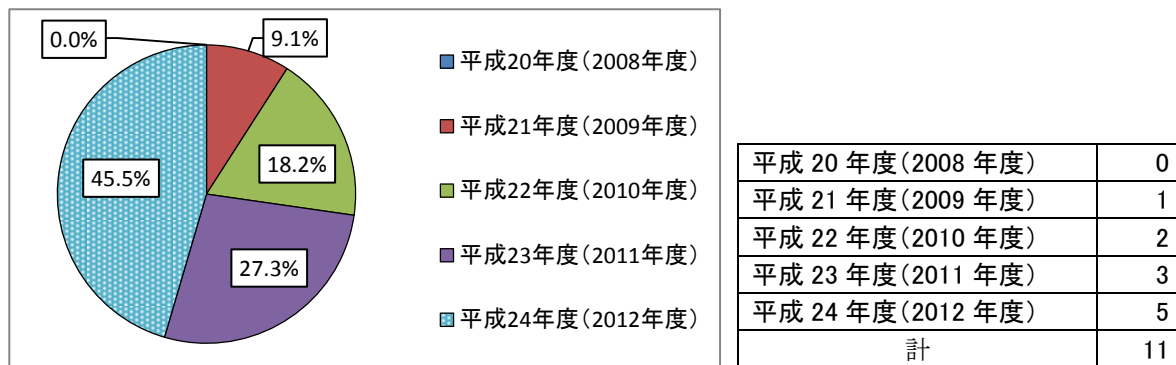
Q 1. 修了した研究科 (専攻)



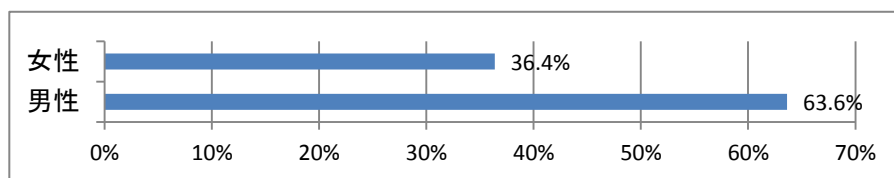
Q 2. 修了した課程

博士前期課程・修士課程	11
-------------	----

Q 3. 修了年度

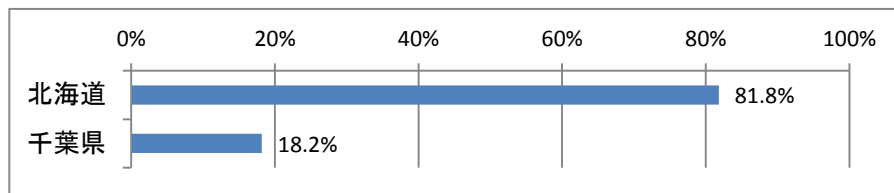


Q 4. 性別



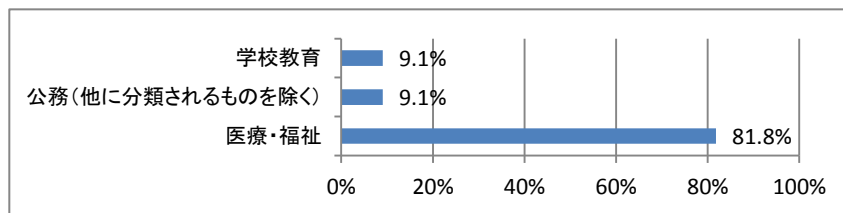
男性	7
女性	4

Q 5. 居住地（都道府県）



北海道	9
千葉県	2

Q 6. 職業（業種）



医療・福祉	9
公務 （他に分類されるものを除く）	1
学校教育	1

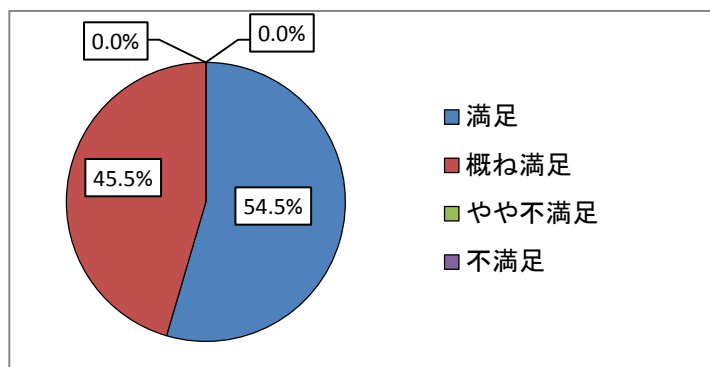
■ II. 大学院生活に対する満足度について」（Q7～Q9）

教育内容の満足度は、100%と非常に高い

○教育内容の満足度の質問に対し、「満足 54.5%」と「概ね満足 45.5%」と 100%の回答であった。

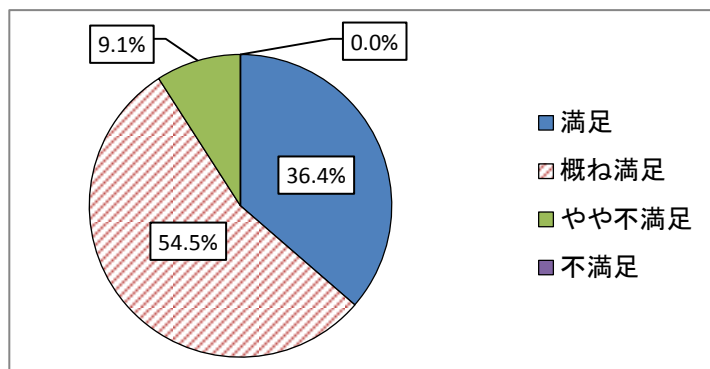
○教育・研究の施設設備の満足度は 90.1%であり、教員等への相談体制については 81.8%と「やや不満」や「不満」と回答した修了生がいた。

Q 7：教育内容全体としての満足度



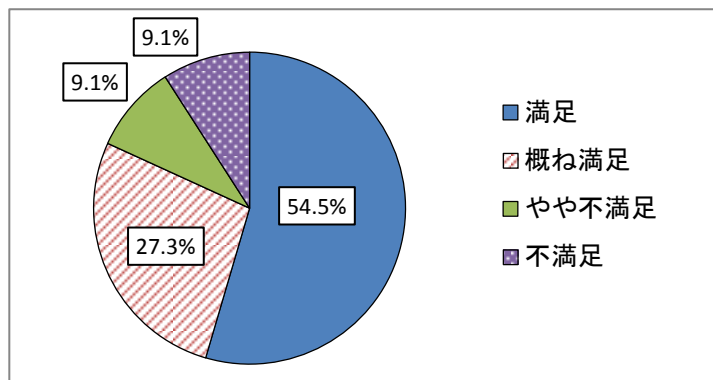
満足	6
概ね満足	5
やや不満	0
不満	0

Q 8：教育や研究に関する施設、設備、備品の満足度



満足	4
概ね満足	6
やや不満	1
不満	0

Q 9：教員等への質問や相談体制の満足度



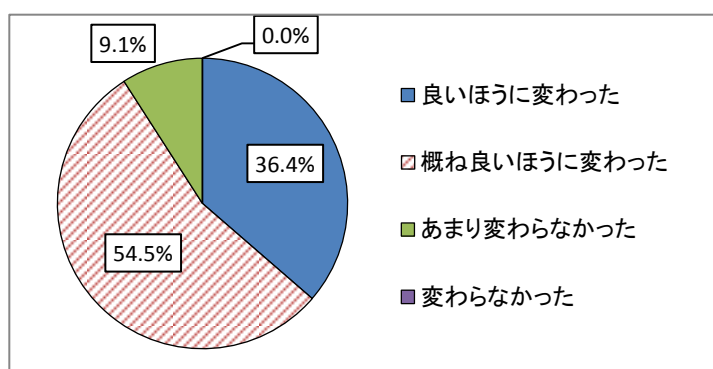
満足	6
概ね満足	3
やや不満足	1
不満足	1

■Ⅲ. 大学院生活で感じたこと、身に付いたこと（Q10～Q13）

修士課程で修得すべき知識・能力が概ね身につけている

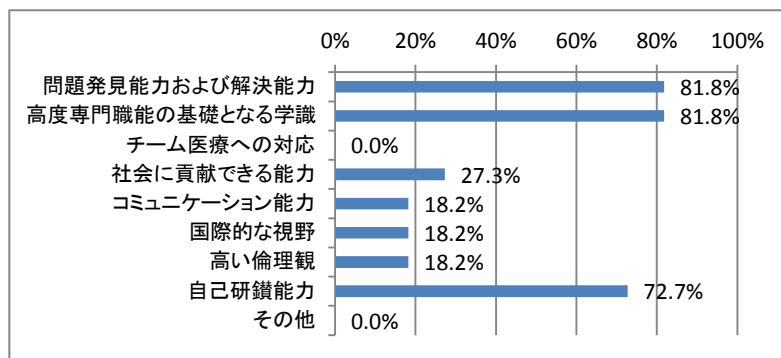
- 「大学院課程教育において修得すべき知識・能力」が身に付いたかの質問に対し、「良いほうに変わった」と「概ね良い方に変わった」と回答した者が 90.9%であった。
- 身に付いた知識・能力は、「問題発見能力及び解決能力」「高度専門職能の基礎となる学識」各 81.8%と自己研鑽能力 72.7%と修士課程の修得すべき知識・能力が身についたことが評価できる。
- 国際的な視野や高い倫理観などが特に低かったのが、PART-1 の大学院生の結果と比較して差異があった。
- 本学の大学院で学んだことが実社会で役立っているかの質問に対し、90.1%が役立っていると評価している。

Q10：大学院教育において、修得すべき知識・能力がどの程度身についたか



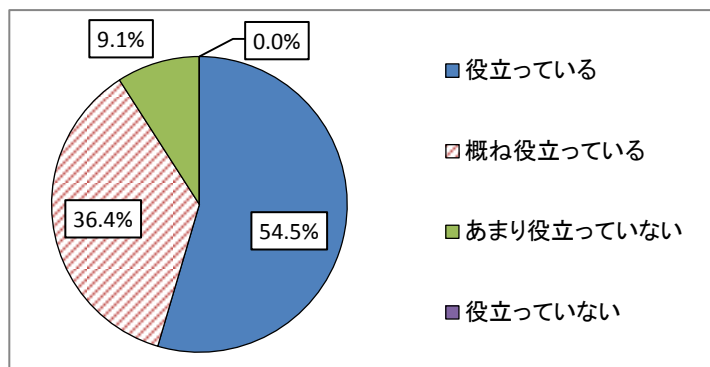
良いほうに変わった	4
概ね良いほうに変わった	6
あまり変わらなかった	1
変わらなかった	0

Q11：在学中の教育全体を通して、「身に付いた」と思うもの選択（複数可）



問題発見能力および解決能力	9
高度専門職能の基礎となる学識	9
チーム医療への対応	0
社会に貢献できる能力	3
コミュニケーション能力	2
国際的な視野	2
高い倫理観	2
自己研鑽能力	8
その他	0

Q12：実社会において、学んだことや、経験が役に立っているか



役に立っている	6
概ね役に立っている	4
あまり役に立っていない	1
役に立っていない	0

Q13：在学中にもっとしておけば良かったと思うこと、身につけておきたかったこと（自由記述）※件数

合計	6
----	---

■IV. 本学大学院に対する修了生の感じていること（Q14～Q16）

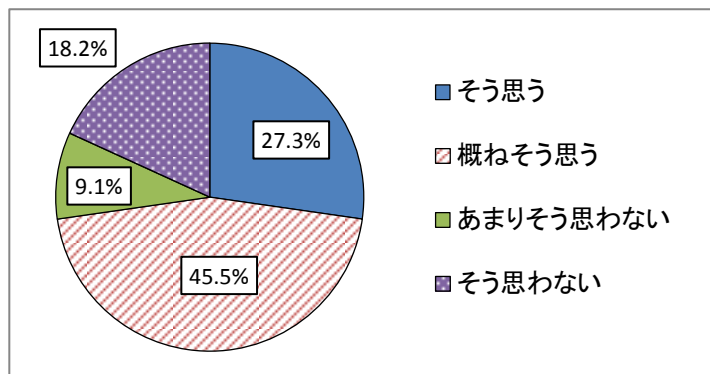
本学大学院の評価は高く、修了したことへの満足度も 100%と非常に高い

○実社会においての本学大学院の評価は高いと思うかの質問に対し、「そう思う」と「概ねそう思う」72.7%、「あまりそう思わない」と「そう思わない」27.3%であった。

学部卒業生の実社会においての本学の評価について、「そう思う」と「概ねそう思う」58.8%、「あまりそう思わない」と「そう思わない」41.2%と比較すると大学院教育の成果の表れと考えられる。

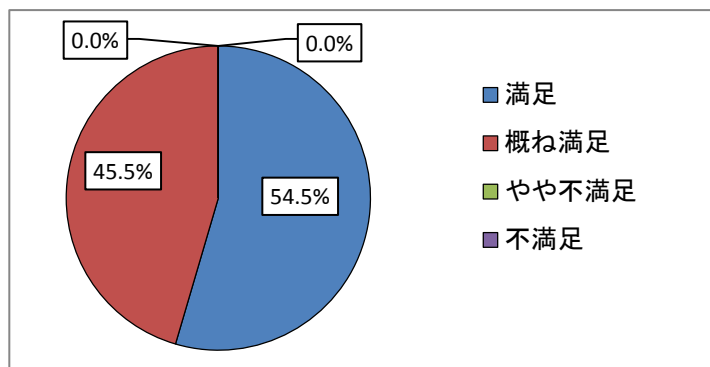
○本学大学院を修了したことへの満足度は、「満足 54.5%」「概ね満足 45.5%」と 100%であった。

Q14. 実社会において本学大学院の評価は高いか



そう思う	3
概ねそう思う	5
あまりそう思わない	1
そう思わない	2

Q15. 本学大学院を修了したことの満足度



満足	6
概ね満足	5
やや不満足	0
不満足	0

Q16. 本学における教育研究や学生支援サービスをより良くするための要望や意見（自由記述）※件数

合計	2
----	---

I. はじめに基本事項についてお聞きします。

Q 1 : 卒業した学部（学科）を教えてください。

1. 薬学部 2. 歯学部 3. 看護福祉学部（看護学科） 4. 看護福祉学部（臨床福祉学科）
5. 心理科学部（臨床心理学科） 6. 心理科学部（言語聴覚療法学科）

Q 2 : 卒業した年月を教えてください。

平成 年 月卒業

Q 3 : 性別について教えてください。

1. 男性 2. 女性

Q 4 : 現在お住まいの場所の都道府県名を教えてください。

Q 5 : 現在の職業（業種）について教えてください。（該当者のみ）

1. 農林水産鉱業 2. 建設業 3. 製造業 4. 運輸・電気・ガス・熱供給・水道業
5. 情報通信業 6. 卸売・小売業 7. 金融・保険業 8. 不動産業 9. 宿泊・飲食サービス業
10. マスコミ・出版・広告 11. ソフトウェア・情報処理 12. 教育産業
13. 医療・福祉 14. その他サービス業 15. 学校教育 16. 公務（他に分類されるものを除く）
17. その他（ ）

Q 6 : 現在の働き方について教えてください。

1. 自営業 2. 正社員 3. パート、アルバイト 4. 派遣社員・契約社員 5. 学生
6. 無職 7. その他（ ）

Q 7 : 転職された方にお聞きします。卒業後どのくらいの期間で最初の就職先を転職されたか、教えてください。

1. 半年以内 2. 一年以内 3. 二年以内 4. 三年以内 5. 五年以内
6. その他（ ）

Q 8 : 転職した理由について、1つ選んでください。（該当者のみ）

1. キャリアアップ 2. 仕事内容 3. 給与・労働条件 4. 人事・研修制度 5. 同僚・上司との人間関係
6. 社風・経営方針 7. イメージしていた職場・仕事とのギャップ
8. 家庭の事情 9. その他（ ）

II. 学生生活に対する満足度についてお聞きします。

Q 9 : 教育内容は、全体として満足でしたか。

○満足 ○概ね満足 ○やや不満 ○不満

|-----|-----|-----|

Q10：学習や研究に関する施設、設備、備品は満足でしたか。

○満足 ○概ね満足 ○やや不満 ○不満

Q11：学生生活全般に関する施設、設備、備品は満足でしたか。

○満足 ○概ね満足 ○やや不満 ○不満

Q12：就職活動への支援体制は満足でしたか。

○満足 ○概ね満足 ○やや不満 ○不満

Q13：教員への質問や相談体制は満足でしたか。

○満足 ○概ね満足 ○やや不満 ○不満

Ⅲ. 学生生活で感じたこと、身についたと思うことについてお聞きします。

Q14：学生生活によって、自分が良い方向に変わったと思いますか。

○ 良いほうに変わった	○ 概ね良いほうに変わった	○ あまり変わらなかった	○ 変わらなかった

Q15：在学中の教育全体を通して、次のようなことが身についたと感じますか。身に付いたと思うものを選んでください。（複数可）

1. 幅広い教養 2. 豊かな人間性 3. 専門知識・技術 4. 倫理観
5. 自己研鑽能力 6. 協調性 7. コミュニケーション能力 8. 自主性・創造性
9. 地域的・国際的な視野 10. 語学力 11. IT活用能力 12. 多職種連携能力
13. その他（具体的に： ）

Q16：特に仕事に係わることで、本学で学んだことや、大学での経験が役に立っていると感じますか。

○役立っている ○概ね役立っている ○あまり役立っていない ○役立っていない

Q17：仕事以外の日常生活の中で、本学で学んだことや、大学での経験が役に立っていると感じますか。

○役立っている ○概ね役立っている ○あまり役立っていない ○役立っていない

Q18：在学中にもっとしておけば良かったと思うこと、身につけておきたかった能力を1つ選んでください。

1. 一般的な教養 2. 専門知識、技術 3. 語学力 4. プレゼンテーション能力
5. コミュニケーション能力 6. IT活用能力 7. 資格の取得 8. クラブ・サークル活動
9. その他 ()

IV. 本学に対して卒業生の感じていることについてお聞きします。

Q19. 実社会において本学の評価は高いと思いますか。

○そう思う ○概ねそう思う ○あまりそう思わない ○そう思わない

Q20. 本学を卒業したことに満足していますか。

○満足 ○概ね満足 ○やや不満足 ○不満足

Q21. 本学への進学を周りの家族・知人などに勧めたいと思いますか。

○そう思う ○概ねそう思う ○あまりそう思わない ○そう思わない

Q22. 社会人生活を通して大学在学中に教育や学生支援サービスで充実・改善して欲しかった支援について教えてください。(複数可)

1. 専門科目の勉強 2. 教養科目の勉強 3. 実習の充実 4. 国家試験対策 5. 就職支援 6. 各業界・職種の説明(キャリアビジョンや詳細な仕事内容など) 7. インターンシップ 8. コミュニケーション能力の育成 9. 人間性の育成 10. 施設の充実(教室や学食など) 11. 卒業生との交流 12. 学生間の交流 13. 他大学との交流 14. 留学支援 15. クラブ・サークル活動 16. 国家資格以外の資格取得支援(簿記やTOEIC など) 17. 奨学金の充実 18. その他()

Q23. 本学をより良いものにしていくために、要望やご意見がありましたら、お聞かせください。

--

アンケートへのご協力ありがとうございました。

北海道医療大学大学院 修了生アンケート 【調査票】入力フォーム

I. はじめに基本事項についてお聞きます。

Q 1 : 修了した研究科 (専攻) について教えてください。

1. 薬学研究科 2. 歯学研究科 3. 看護福祉学研究科 (看護学専攻) 4. 看護福祉学研究科 (臨床福祉学専攻) 5. 心理科学研究科 (臨床心理学専攻) 6. 心理科学研究科 (言語聴覚学専攻)

Q 2 : 修了した課程について教えてください。

1. 博士前期課程・修士課程 2. 博士後期課程 3. 4年の博士課程

Q 3 : 修了した年月を教えてください。

平成 年 月 修了

Q 4 : 性別について教えてください。

1. 男性 2. 女性

Q 5 : 現在お住まいの場所の都道府県名を教えてください。

Q 6 : 現在の職業 (業種) について教えてください。(該当者のみ)

1. 農林水産業 2. 建設業 3. 製造業 4. 運輸・電気・ガス・熱供給・水道業 5. 情報通信業 6. 卸売・小売業 7. 金融・保険業 8. 不動産業 9. 宿泊・飲食サービス業 10. マスコミ・出版・広告 11. ソフトウェア・情報処理 12. 教育産業 13. 医療・福祉 14. その他サービス業 15. 学校教育 16. 公務 (他に分類されるものを除) 17. その他 ()

II. 大学院生活に対する満足度についてお聞きます。

Q 7 : 教育内容について、全体として満足していますか。

4. 満足 3. やや満足 2. やや不満 1. 不満

Q 8 : 教育や研究に関する施設、設備、備品は十分でしたか。

4. 十分 3. 概ね十分 2. やや不十分 1. 不十分

Q 9 : 教員等に気軽に質問や相談ができましたか。

4. 十分できた 3. 概ねできた 2. あまりできなかった 1. できなかった

III. 大学院生活で感じたこと、身についたと思うことについてお聞きます。

Q 10 : 在学中、「大学院課程教育において修得すべき知識・能力」がどの程度身についたと思いますか。

4. 身についた 3. 概ね身に付いた 2. あまり身に付かなかった 1. 身に付かなかった

Q11：在学中の教育全体を通して、次のようなことが身についたと感じますか。身に付いたと思うものを選んでください。（複数可）

（修士課程修了者）

1. 問題発見能力および解決能力 2. 高度専門職能の基礎となる学識 3. チーム医療への対応 4. 社会に貢献できる能力 5. コミュニケーション能力 6. 国際的な視野 7. 高い倫理観 8. 自己研鑽能力 9. その他（具体的に： ）

（博士課程修了者）

1. 研究計画能力と研究実践能力 2. 研究競争力と問題処理能力 3. 高度専門知識 4. コミュニケーション能力 5. 国際的な視野と行動力 6. 責任性と高い倫理観 7. 知的技術者（実践技術者）能力 8. 指導者の能力 9. 自己研鑽能力 10. 論文作成能力 11. その他（具体的に： ）

Q12：実社会において特に仕事に係わることで、本学大学院で学んだことや、経験が役に立っていると感じますか。

4. 役立っている 3. ある程度役立っている 2. あまり役立っていない
1. 役立っていない

Q13：実社会の経験に照らして、在学中にもっとしておけば良かったと思うこと、身につけておきたかったことについて、ご記入ください。

--

IV. 本学大学院に対して修了生の感じていることについてお聞きます。

Q14. 実社会において本学大学院の評価は高いと思いますか。

4. そう思う 3. いくらかそう思う 2. あまりそう思わない 1. そう思わない

Q15. 本学大学院を修了したことに満足していますか。

4. 満足している 3. やや満足している 2. あまり満足していない 1. 満足していない

Q16. 今後、本学大学院における教育研究や学生支援サービスをより良いものにしていくために、要望やご意見がありましたら、お聞かせください。

--

アンケートへのご協力ありがとうございました。